

## 第9回～11回 テーマ 「学校における一日実習」

- ・期 日 平成23年11月25日～12月7日
- ・受講者 学生 27人（4年次26人、大学院生1人）
- ・実習校 附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校
- ・学部教員（一日実習における巡回指導）  
井門正美教授（教職実践演習実施委員会委員長）、志立正知教授  
清水貴裕講師、石黒純一教授、内海 淳准教授、佐川 馨准教授
- ・担当教員 神居 隆特任教授、斎藤 孝客員教授、石橋研一客員教授

### 実習に当たって

一日実習の実施に当たっては、事前に実施の目的や実施形態（参観する内容、参観の観点など）について学生に周知させるとともに、実習の観点に基づいて授業参観や参加等に臨むようにした。

また、一日実習の終了後、所定の実習記録用紙に記入して提出するようにした。

### 実習校での配属

受講者27人の希望をもとに、一日実習を行う附属校における配属を次のようにした。

#### 【附属小学校】

1年：1人、3年：3人、4年：4人、5年：1人、6年：1人、計10人

#### 【附属中学校】

1年：4人、2年：5人、3年：3人、計12人

#### 【附属特別支援学校】

小学部：3人 高等部：2人 計5人



### リフレクションノートから

・一日いるだけでも様々な視点や発見ができた。子どもや教師を観察することで、これから自分にとって大事なこと、身に付けたほうがいいことが見えてきたので普段の生活から気を付けていきたい。（附小実習）

・児童との関わりの大切さをとても感じた。一日の中でクラス全員と話すことは難しいことかもしれないが、4月からはできるように意識しようと思った。子ども一人一人との関わりを大切にしたい。（附小実習）

・子ども理解や教材研究など参考になることが多かった。特に、重要なことは、コミュニケーションをしようとする姿勢であり、やりとりを通して子どもの新たな面を発見できるのではないかと考えた。（附特支校実習）

・高等部のスケート教室に参加した。自分自身初めての経験だったが、一緒に練習するというスタンスで生徒と接するができた。

（附特支校実習）

### 実習受け入れ校より

参観だけの実習で本当に学生のためになるのか、どういう実習にしたらよいのか来年度の課題であると思う。プリントなどのコメント書きや、実験の後片付けなどをしてもらった学生もいたが、一日中参観だけという学生もいた。参観は1年次の導入ゼミで、授業は2～4年次の教育実習で行っているので、「それらとどう違うのか、あるいは同じでもいいのか」。例えば、主免の実習では十分な指導や裏付けがないままTTで道徳の授業を行っているので、実践演習の実習として道徳の授業を行うのも良いのではないか。

できれば実習校の都合に学生が合わせていただきたい。実習日が学生によって違ったり、授業のため早めに帰らなければならない学生がいたので、来年度は統一してほしい。

実習生の態度は特に問題はなく、参観が続いても最後まで集中していた。【附属中】

一日実習に参加した学生は、実習で経験した各学級の子どもたちをよく理解しており、授業参観や授業の補助などのほか、朝の活動や休み時間の子どもとの触れ合いにも積極的に参加している様子が見られた。【附属小】

実習に参加した5人は、前年度の教育実習を体験した学生であり、児童生徒一人一人の特性等をよく把握しており、積極的に学部や学級の授業に参加していた。小学部では、各学級ごとの学習活動に参加するほか、給食指導や下校指導にも参加していただいた。高等部はスケート教室があり、学生には生徒の指導や補助などに当たっていただき大変助かった。【附属特支校】

## 「一日実習」の記録

秋田大学教育文化学部

学籍番号		氏名		実習期日	平成23年	月	日
実習先学校名	秋田大学教育文化学部附属 学校						

参観の視点	児童生徒が生き生きと活動しているか。また、それは子どものどんな姿から分かったか。
気づいたこと	
参観の視点	教師がそれぞれの子どもにどう関わっているか。また、それはどんな状況や場面から分かったか。
気づいたこと	

実習の振り返りの視点	一日実習を通して、「4月の採用（講師を含む）までに心掛けたいこと」や「自分の課題」として気づいたことは何か。
気づいたこと	

## 平成23年度教職実践演習「一日実習」の実施にあたって

### 1 一日実習の目的

実習者は、実習受け入れ校が決めた学年及び学級に所属し、教科指導や学級経営の参観を通して、始業時から終業時までの学校生活の一日の流れを学ぶ。

### 2 実習形態

(1) 小学校：所属学級の学級担任と行動を一日共にする。

中学校：所属学級では、「学級活動」について学級担任と行動を共にする。

教科の授業については、専門の教科を参観する。

特別支援学校：小学校、中学校に準ずる。

(2) 主として次の内容を参観する。

登下校の安全指導、朝の会・帰りの会、教科等の授業、給食指導、清掃指導、放課後の生活

(3) 参観の視点

児童生徒が生き生きと活動しているか。

また、それはどんな子どもの姿から分かったか

教師がそれぞれの子どもにどう関わっているか。

また、それはどんな状況や場面から分かったか。

実習の振り返りの視点

一日実習を通して、「四月の採用までに心掛けたいこと」としてどんなことに気づいたか。

3 実習期間 平成23年11月28日～12月7日の間の学校が定める一日間

### 4 実習の記録

所定の実習記録用紙に学生が記録する。

なお、実習受け入れ校が記載する内容はありません。